

福岡市で展示会

リプロダクトを推進 スペースの龍澤氏ら講演

DesignFuture
Japanが運営するMa-
terial Bank J-
apan主催のサステナブル



マテリアル展示会「Material Caravan」が6、7の両日、福岡市のスペース福岡本部で開かれ、建材メーカーや建築デザイナーなど多くの関係者にぎわった。写真。

同展示会は、環境負荷を抑えたサステナブルな建材を製作するメーカー20社が出展。トークセッションには、スペースの龍澤知佳リプロダクト推進室長や建築家の松山将勝氏（松山建築設計室代表）らが登壇した。
6日のトークセッションで



講演する龍澤氏

龍澤氏は「スペースが目指すものづくりのミライ」をテーマに講演した。環境配慮素材に関する「検討が十分ではない」と前置きした上で、「サーキュラーエコノミー（循環経済）の考え方を取り入れて『捨てる』という概念のない

空間づくりを目指したいと発足したのがリプロダクト推進室だ」と説明した。

その後、活動目標やそれを実現するための具体的な取り組みを紹介した。最後に「作り手であり、消費者でもある私たちが当たり前にやってきたことを少しでも見直すことができれば、リプロダクトの次の一歩につながる」と語り、協力を呼び掛けた。

展示参加メーカーは次のとおり。

▽日本エムテックス▽イビケン
旭興▽矢橋大理石▽トミタ▽SK
ワイーストアジア▽ニッシンイック
ス▽リリカラ▽名古屋セラミック
ス▽WHO▽ニチハ▽圭 KEI
▽日の出工業▽東洋ステンレス研
磨工業▽富士工業販売 Demo
ld▽ARC-X▽古材日和▽東
亜コルク▽ミライール▽田島ル
フィング。

